

令和2年第6回教育委員会議 会議録

1. 開催日時

令和2年5月25日（月） 午前9時30分～午前10時

2. 開催場所

石鳥谷総合支所 3-2・3-3会議室

3. 出席委員（6名）

教育長 佐藤 勝
委員 中村 弘樹
委員 役重 眞喜子
委員 衣更着 潤
委員 熊谷 勇夫
委員 中村 祐美子

4. 説明のため出席した職員

教育部長 岩間 裕子
教育企画課長 小原 賢史
学務管理課長 佐々木 晋
学校教育課長 佐々木 健一
こども課長 今井 岳彦
文化財課長 平野 克則

5. 書記

教育企画課 課長補佐 大竹 誠治 総務企画課係長 佐々木 晶子
主事 荒木田 美月

6. 議事録

○佐藤教育長

おはようございます。朝早くからありがとうございます。ただ今から、令和2年第6回花巻市教育委員会議定例会を開会いたします。会議の日時、令和2年5月25日、午前9

時30分。会議の場所、石鳥谷総合支所、3-2・3-3会議室。日程第1、会期の決定であります。本日1日とすることにご異議ございませんでしょうか。

(なしの声)

○佐藤教育長

それでは異議なしと認め、本日1日と決定いたします。次に、日程第2、報告事項、3本ございます。報告事項に入ります。事務局から報告をお願いいたします。小原教育企画課長

○小原教育企画課長

報告事項の1点目、大迫地域小学校統合準備の進捗状況について、ご説明いたします。着座して説明させていただきます。資料につきましては、資料No.1をご覧くださいと思います。前回、4月27日の第5回の教育委員会議定例会以降の状況といたしまして、大きく4点、ご報告させていただきます。

項目1、準備委員会の設立総会（書面議決）の結果についてであります。前回、教育委員の皆様には、総会提出議案についてご説明させていただきました。内容といたしましては、大きく、設置要綱案、委員構成案、委員長と副委員長の選出といたしまして、大迫小学校長を委員長、副委員長を内川目小、亀ヶ森小の校長を選出するという事務局案でございます。協議事項として、今後の検討事項と検討スケジュール案について書面議決をお願いしておりましたが、4月24日付けで委員全員の承認をもって可決されましたので、この組織については立ち上がったということで、まずはご報告させていただきます。

項目2、専門部会の開催についてであります。先週、5月21日（木曜）、22日（金曜）に、要綱で設置いたしました5つの部会の各専門部会が開催されました。協議した内容については記載のとおり、部会長と副部会長の選出、担当事務と今後の進め方でございます。そして、今週28日に、1回目の準備委員会を予定しておりますが、この提出議案について事前説明をさせていただいたところでございます。各部会の部会長、副部会長、次回日程等は表に記載のとおり決定してございます。以後、このように各部会の検討を進めていくということを予定してございます。

項目3、統合準備委員会の開催について、5月28日（木曜）午後6時半から大迫小学校の体育館で1回目の準備委員会全体会を開催いたします。内容といたしましては、先ほど申し上げました専門部会、5つの部会の会議の報告、それから、1回目の準備委員会で、統合校の校名、校歌、校章、スクールカラーについてご議論いただくことを予定してございます。

項目4、その他でございますが、内川目小学校と亀ヶ森小学校におきましては、いずれも5月27日（水曜）、閉校記念事業の実行委員会の設立に向けた準備委員会の開催を予定しているということを両校から伺ってございます。以上ご報告申し上げます。

○佐藤教育長

ただ今の報告について、質疑ある方ございませんでしょうか。4月の総会ができず、書面決議ということでそれぞれの部会がスタートしたという状況で、これからだということになります。ご質問等ございますか。

（なしの声）

○佐藤教育長

それでは、なしと認め、ただ今の報告に対する質疑を終結いたします。では次の報告。公立保育園の耐震診断結果につきまして、事務局から報告をお願いいたします。今井こども課長

○今井こども課長

報告事項(2)公立保育園の耐震診断結果についてご報告いたします。座って説明させていただきます。資料No.2をご覧くださいと思います。旧耐震診断基準で建築された、湯口、太田、亀ヶ森及び上瀬保育園の4園の耐震診断を、令和元年10月から令和2年3月にかけて実施いたしましたので、その結果について報告いたします。各保育園とも平屋建てということで、耐震診断の法律上の義務はございませんが、今後の施設のあり方等を検討する中で、現在の耐震基準に適合しているかどうか確認するというので、耐震診断を実施したところでございます。

1、耐震診断結果についてです。表の1番右側、判定結果です。亀ヶ森保育園は基準値を上回っており、倒壊の危険性はないという診断でしたが、湯口、太田、上瀬保育園は、基準値1.0を下回っており、倒壊の危険性があるという診断でございました。これを受けて、業者の評価を記載しております。直接、業者から話を聞きましたが、湯口、太田、上瀬の3園ともに、確かに現耐震基準の基準値を下回ってはいますが、当然、旧耐震基準は満たしておりますし、平屋で耐久壁の配置もバランスよく、壁の数も多いということで、現時点で今すぐに倒壊することは考えにくいという診断でございました。その上で、数値を下回っているため、計画的に耐震補強工事を進めていくのが良いのではないかと提案がございました。これを受けまして、2今後の対応ですが、診断結果を受けて教育委員会として検討いたしました。確かに業者の評価としては今すぐ倒壊することは考えにくいということで、耐震補強の緊急性はないものと判断はしておりました。しかし、実際にお

子さんを預かっている、保育をしていることを考えますと、やはり全く倒壊の可能性がないわけではございませんので、お子さんの安全を最優先に考慮いたしまして、今年度中に耐震補強工事を実施することで進めております。外壁に、さらに補強の壁を設置する工事になりますので、引き続き保育は実施していくこととなります。ただ、例えば午後にはお昼寝がある等、さまざまな状況がありますので、お子さんの安全、保育に最大限配慮して、今年度中に工事を実施したいと考えてございます。工事にかかる予算につきましては、6月の定例会に補正予算として計上して、ご審議いただく予定となっております。

3、保育園、保護者への説明状況ということで、この結果は4月24日に対象の園長に説明いたしまして、園長から各園の職員には説明しております。それから、先週の月曜日から木曜日にかけて、対象園の保護者の方に説明いたしました。特に保護者の皆様からの反対や心配の声はございませんでした。資料にはございませんが、今後の予定として、29日（金曜）に議員説明を予定してございます。説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長

保育園の耐震診断結果と今後の対応についてでございました。質疑のある方お願いいたします。今井こども課長、工期と事業費の補足説明をお願いします。

○今井こども課長

工期は今年12月から来年3月ぐらいを予定しております。事業費は、湯口保育園は1,168万円ほど、太田保育園は1,338万円ほど、上瀬保育園は1,421万円ほどでございます。

○佐藤教育長

新旧の耐震基準は相当違うのですか。50年代の建築物のため、やはり老朽化しているということでしょうか。今井課長

○今井こども課長

そうです。新耐震基準が、昭和56年、仙台沖の地震でコンクリート台が倒壊したことを受け、強化されたのだと思います。

○佐藤教育長

ほかによろしいですか。

(なしの声)

○佐藤教育長

それではなしと認め、質疑を打ち切ります。ただ今の報告に対する質疑を終結いたします。では次の報告、（仮称）若葉学童クラブ施設整備について、事務局から報告をお願いします。

いたします。今井こども課長

○今井こども課長

引き続き説明させていただきます。資料No.3をご覧くださいと思います。（仮称）若葉学童クラブ（花巻学童クラブとひまわり学童クラブ統合）施設整備について説明いたします。まず、資料にはないのですが、経緯について説明させていただきます。

花巻学童クラブは、昨年10月から耐震診断を実施いたしました。こちらの学童クラブも、平屋建てで耐震の義務はございませんが、花西振興センター、文化会館と同時期に建てられた建物であり、花西振興センターが耐震基準を満たしていないため、危険であるということで耐震診断を実施した経緯でございます。耐震診断の結果、花巻学童クラブが、補強コンクリートブロック造と木造とか、特殊な構造で、そもそも耐震がなかなか難しいということ、木造部分に金具等は使用されていないということで、倒壊の危険性が高いという判断でした。この結果を受けて、教育委員会で検討し、倒壊の危険性が高いという判断をいたしました。花巻学童クラブは、若葉町にあります、今の錦堂ビルに3月16日に仮移転してございます。その後検討した結果、今回新たに（仮称）若葉学童クラブとして整備することとなりました。併せて、ひまわり学童クラブも、民間の施設であります、やはり建物が古いということで、この機会に統合して整備することにいたしました。

資料に基づいて説明いたします。1、現在の利用状況ですが、4月1日時点で花巻学童クラブ、ひまわり学童クラブ合わせて161名の方が利用されております。学童クラブの利用は年々増加傾向にあり、市全体で25%、児童の4人に1人が学童を使っているという状況です。若葉小学校の利用者は、毎年約2%ずつの増加傾向がみられます。支援の単位は現在3支援ですが、今後の利用増も見込んで、統合後の施設は4支援に整備いたします。児童数は165名、1支援当たり40名として整備しますが、今後の利用増も見込みまして、施設自体は最大45名の4支援、最大で計180名は利用できる施設を考えております。施設の構造は木造2階で、一部鉄骨となっております。施設の面積は全部で530平米でございます。保育室は最低の面積基準では297平米ですが、さまざまな収納スペースも含めて、保育室としては340平米の整備を予定してございます。それから、駐車場は、送迎分で8台分を整備する予定となっております。

スケジュールですが、まず、実施設計につきまして、6月の補正予算に計上してございます。今年度は実施設計を行い、整備は令和3年度を予定しております。工事は6月から1月末を予定してございまして、最終的な使用開始が再来年の3月を予定している状況でございます。資料No.3-2には、整備する学童の配置図を記載しております。若葉小学校の南側といいますか、プールの南側、セブンイレブンの道路を挟んで北側の角に整備を予定してございます。なお、地域の教育振興協議会、PTAへの説明は終了し、特に反対や異

論はございませんでした。説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長

(仮称)ですが、若葉学童クラブでいいのですか。今井課長

○今井こども課長

そのままになると思われます。

○佐藤教育長

現在の花巻学童クラブとひまわり学童クラブ、2つを合わせて設置するという事で説明を申し上げたとおりです。場所は、資料の1番最後のページの、若葉小学校校庭の1番南西側の予定で、今度の議会に上程するという事ですが、この学童クラブの施設整備について、ご質問ございませんでしょうか。はい、熊谷委員

○熊谷委員

4支援の単位の、「支援」とはどのような意味か具体的に教えてください。

○佐藤教育長

「支援」について。今井課長

○今井こども課長

「支援」というのは、学校のクラスのような、ひとつ補助金の基準になっている単位でございます。基本的に支援の単位は、1支援あたりおおむね40人ということで、今現在は3支援、160人ですが、40人ですと4支援の単位になりますので、基本は40人を1つの単位として考えていただければと思います。補助金等も支援によって変わってくるため、4支援は3支援より補助金で有利になることがございますので、今回、4支援ということで整備を考えております。

○佐藤教育長

熊谷委員

○熊谷委員

40名単位ということですね。

○佐藤教育長

今井課長

○今井課長

おおむね、そうです。

○佐藤教育長

学童でいうと4クラスのようなものですね。ほかにございますか。中村委員

○中村祐美子委員

ご説明ありがとうございます。1点お聞きしたいのですが、4クラスあるということですが、保育室も4になっていますが、以前の花巻学童クラブですと、ホールのようなものがあった、そこで子供たちが触れ合う、運動するといった場所もあったと思いますが、新施

設になったとき、そのようなホールは併設されないことになりますか。

○佐藤教育長

今井課長

○今井こども課長

面積は、ホール等も含めて児童1人当たり1.65平米という基準があります。花巻学童はホールも含めた面積で満たしておりましたが、今回の学童は、確かにホールという形で整備はしませんが、その面積を含めた保育室ということになります。それから、この保育室が可動式の壁で、学習室やホールにも使える構造になります。したがってホールという名称はありませんが、保育室もホールとして使える、含むということでの整備ということで、学童とも話をしております。

○佐藤教育長

よろしいですか。中村委員

○中村弘樹委員

資料には予算、整備のスケジュールがありますが、保護者や地域の人への説明は済んでいるのですか。敷地の一部に新築するわけですね。築山や庭園がつぶされることで、反対といった協議はなされたのかなということをお聞きしたいと思います。

○佐藤教育長

今井課長

○今井課長

説明いたしましたところ、特に保護者、PTAの方は、敷地内を整備することに大賛成という形でしたし、若葉小学校、地域の教育振興協議会等さまざま確認したところ、築山や庭園は特になくてもいいというお話をいただきました。築山や庭園を撤去するという形で整備を考えたときに、反対という話はございませんでした。

○佐藤教育長

中村委員

○中村弘樹委員

学童ですから、外で遊ぶということも考えて、校庭や学校の施設も有効活用ということですね。

○佐藤教育長

大分時間をかけて、いろいろな人からご意見いただきました。築山については、昔は冬にクロスカントリースキー等で遊ぶこともありましたが、最近は全然、機会がないということです。資料3-2に若葉公園とありますが、ここに移設しましょうかということもありました。若葉公園、都市公園ですが、実際は低学年の子供たちが一生懸命遊ぶ場所になっているので、ここに築山をつくるよりは、今のままでいいということです。それから、学童クラブの建物本体の建設予定地は、現在大きい石を置いた庭園風になっていますが、こ

こも築山の裏でなかなか活用できていないということで、学校もPTAも教育振興協議会も、この場所でいいのではないかということです。何より、校地内に学童クラブを作ってもらうことが、1番安全で安心だという意見でありました。よろしいですか。はい。役重委員。

○役重委員

花巻学童クラブとひまわり学童クラブの統合ということで、運営組織そのものも1つになるという理解ですか。

○佐藤教育長

今井課長

○今井課長

運営組織も統合ということになります。

○佐藤教育長

役重委員どうぞ。

○役重委員

それは、施設の発足とともにという準備というスケジュールですか。

○佐藤教育長

今井課長

○今井課長

そうです。

○佐藤教育長

役重委員

○役重委員

それについては、支援員さんの待遇等いろいろな問題があるかと思いますが、どのような状況でしょうか。

○佐藤教育長

今井課長

○今井課長

そこは、日ごろから交流している中で、実際に各学童の運営協議会でやっていただくことですが、これから統合するにあたり、両協議会とも一緒にやっていくことでまとまっております。具体的にどのようにしていくかまでは、今現在は把握してございません。

○佐藤教育長

役重委員

○役重委員

その場合、組織が1つになったときには、もらえる補助金が少なくなるとか、そういったことはございませんか。

○佐藤教育長

今井課長

○今井課長

補助金、委託料ですが、支援の単位ごとに出しております。現在は合わせると3支援ですが、統合後は4支援になります。1番基準単価が高いのが、40、45人ぐらいですから、むしろ統合することで、さらに補助金は増える見込みとなっております。

○佐藤教育長

ひまわり学童は民家を使って運営していますが、かなり老朽化して、近々やめたいということがあります。その場でももちろんできないということで、2つを足してこれだけの人数となると、いろいろと候補地を探し交渉を重ねた結果、やはり学校の中が1番広くて安全で良いということで、1番有力な案として最終的にここに決まったという経過であります。ほかにございませんでしょうか。

(なしの声)

○佐藤教育長

それでは、なしと認め、ただ今の報告に対する質疑を終結いたします。次の教育委員会日程につきましては、お手元に配付いたしました日程表をご覧いただきたいと思いますが、それをもって報告に替えさせていただきたいと思います。今日の議事日程は全て終了しました。これをもって閉会といたします。大変ありがとうございました。